

チームごっくんニューズレター

薬剤性の嚥下障害について

・向精神薬などの副作用が口腔および嚥下機能を低下させる副作用としては、錐体外路症状、鎮静、眠気、食欲低下、嘔気、嘔吐、筋弛緩、口腔乾燥などがあります。

【摂食嚥下機能に影響を与える薬物】

摂食嚥下機能への影響	薬効分類等	一般名	
意識レベルや注意力を低下させる	抗不安薬、睡眠薬	ジアゼパム、トリアゾラムなど	
	抗うつ薬	三環系抗うつ薬	イミプラミン、アミトリプチリン
		SSRI	フルボキサミン、パロキセチン
	抗精神病薬	定型抗精神病薬	ハロペリドール、クロルプロマジン
		非定型抗精神病薬	リスペリドン、オランザピン
	抗てんかん薬	フェニトイン、バルプロ酸ナトリウム	
	第一世代抗ヒスタミン薬	クロルフェニラニン、ジフェンヒドラミン	
唾液分泌低下（口腔内乾燥）を起こす	中枢性筋弛緩薬	チザニジン、バクロフェン	
	末梢性抗コリン薬	アトロピン、ブチルスコポラミン	
	中枢性抗コリン薬	トリヘキシフェニジル	
	三環系抗うつ薬、定型抗精神病薬	イミプラミン、アミトリプチリンなど	
	第一世代抗ヒスタミン薬	クロルフェニラニン、ジフェンヒドラミン	
運動機能を障害する	利尿薬	フロセミド	
	錐体外路症状	定型抗精神病薬	ハロペリドール、クロルプロマジン
		制吐薬	メクロプラミド、ドンペリドン
		消化性潰瘍治療薬	スルピリド、クレボプリドリンゴ
	筋力低下	骨格筋弛緩薬	ダントロレン、チザニジンなど
抗不安薬、睡眠薬		ジアゼパム、トリアゾラムなど	
粘膜障害を起こす	非ステロイド系抗炎症薬	インドメタシン、イブプロフェン	
	抗菌薬	ドキシサイクリン	
	抗悪性腫瘍薬	フルオロウラシル、シクロホスファミド	
	骨粗鬆症治療薬	アレンドロン酸ナトリウム	

ナースの星より引用

今回は摂食・嚥下に影響を及ぼす薬剤を紹介しました。

薬剤性の嚥下障害は投薬変更によって治る嚥下障害です。「副作用が出るかも？」と思って服薬が始

まった場合は、副作用が出た時に即座に対応できます。

薬剤性嚥下障害を常に頭に置きつつ、日々の嚥下ケアに取り組んでください。